

(仮) 道の駅いしかわ通信

【発行者】
石川町 道の駅準備室
TEL 26-9155(直)

6月17日実施、民間6社参加

サウンディング調査 実施しました!



塩田町長、二瓶副町長等が出席し、オンライン(コロナ対策)で実施

□ 目的 (サウンディング型市場調査とは)

本町で整備予定の道の駅の運営に関心のある民間事業者を全国公募し、対話により収益性やアイデア等をいただく調査です。

□ 参加事業者 (県内2・県外4)

設計事業者(1) 道の駅等の運営事業者(3)
運営・企画会社等(複数社共同)(1)
エネルギー関連会社(複数社共同)(1)

□ 参加事業者の主な意見

対話項目	主な意見
道の駅の運営への参画意欲	○ポテンシャル(潜在力、将来性)がある立地であるため参画したい。 ○条件(仕様書)次第であるが、参画意欲はある。
年間の売上額(見込)	○道の駅等を運営をしている事業者3社の見込額は以下のとおり。 2. 2億(1社)、2億~3億(1社)、2. 5億~3. 5億(1社)
他道の駅との差別化	○石川町の地域資源と自社のノウハウで差別化は可能である。 ○この道の駅でしか買えないものをどれだけ揃えるかが重要である。
町が検討している指定管理料なしについて※	○トイレや駐車場等の非営利な施設の管理費は町で負担願いたい。 ○指定管理料なし、納付金なしの実績はある。
町が検討している納付金について	○売上に応じた納付金は、すでに他の道の駅で実施している。 ○本町で整備する道の駅のポテンシャル次第である。

※指定管理料:町が運営者に支払うトイレや駐車場等の非収益施設の管理委託料です。

□ 今後の予定

- サウンディング調査結果を分析・検討し、基本計画に反映する予定です。
- 基本計画策定後に、測量等の各種調査を実施するとともに、運営予定者の募集要項を策定し、年度内を目途に運営予定者の選定を実施します。



Q1 道の駅はどこに整備するの？

A1 候補地3か所（石田地内、大橋地内、中野地内）の中で、「安全性（浸水区域等）」、「周辺に与える影響（騒音等）」、「整備コスト」、「用地面積」などを総合的に検討した結果、大橋地内を最有力候補地として、基本計画の策定を進めております。

※候補地の比較表は基本計画（案）に記載しております。町ホームページから確認できます。

Q2 道の駅の整備により、町にどのような経済効果があるの？

A2 総務省の計算ツールを用いた試算によりますと、来訪者の消費支出による経済波及効果は毎年約3億円となります。

※経済波及効果とは、道の駅を整備することにより、来訪者が増え、需要が生じ、その需要に応じた生産活動が拡大すると、原材料・資材や消費活動を通じ、他の産業に次々と影響を及ぼすことです。

Q3 道の駅の運営事業者が運営困難になった場合どうするの？

A3 運営困難な事態とならないよう、様々なリスクを明確にしたうえで運営予定者の選定を進める予定です。実際の運営に入ってから定期的な業務状況等を把握し、業務の改善が必要な場合は指示を行います。

それでも改善が認められない場合は、業務の停止や指定の取り消しを行い、新たな運営事業者の選定等を行います。

Q4 前回の通信に特産品開発とあったが進捗状況は？

A4 女性を中心とした町内の事業者や農業者等で特産品開発に取り組んでおります。現在、約50個のアイデアが出ており、今後、試作・試食を重ね、年度内に1つ以上の商品化を目指しております。

【編集後記】

前回の創刊号に対し、町民の皆様から多数ご意見等をいただきました。その貴重なご意見等を参考に、今後もより良い道の駅とするための通信となるよう努めてまいります。